



DX推進プロセスにおいて体験価値を高める “UX向上ソリューション”

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

Contents

1. UX向上ソリューションとは
2. ソリューションを支えるメニュー

1. UX向上ソリューションとは

1.1 DX推進プロセスで必要とされる「UX」視点

近年、グローバル化によるビジネス競争の激化に伴い、企業はデジタルトランスフォーメーション(DX)による変革を迫られ、ビジネスプロセスのさまざまな場面でデジタル技術を活用した効率化やイノベーション創出が模索されています。しかし、ツールやシステムありきで性急にデジタル技術を導入してDXを加速しようとしても、なかなか成果につながらないケースもあります。その一因として、ユーザーの満足度向上に直結する「UX」という視点が欠けていることが挙げられており、DX推進を成功に導くためのカギとしてUX向上の重要性が高まっています。

日立ソリューションズ・クリエイトでは、ユーザーが直面する使い勝手の悪さや、サービスが認知されない、浸透しないといった課題に対して、「UXデザイン」、「UI開発」、「プロモーション」などのソリューションを提供して実績を積み上げてきました。こうした取り組みをベースに、業務や課題の可視化 からUIデザイン・マニュアル・プロモーションまで、UXに関わるさまざまなシーン全体をシームレスにカバーするUXを起点にしたソリューションを提供します。



SPO : SharePoint Online

1.2 UX向上ソリューションとは

DXにおける体験価値(UX)を高めるソリューションです。

UX向上 ソリューション	課題	解決	提供価値
1. 体験価値の デザイン	DXには、意見やアイデアを集約し、具体的な戦略やロードマップへ落とし込むプロセスが不可欠 ・業務実態を把握して、DX推進のための課題を見つけ出したい ・DX関係者と建設的な議論を重ねて意見を統合したい	直面する課題やニーズを明確に把握して、ユーザーの行動や感情を理解することで、使い心地にも配慮された、満足度の高い提供価値をデザインでき、関係者の合意形成にもつながります	● 業務実態を把握して、DXのための課題を可視化 ● 関係者との議論促進
2. 体験価値の インプリメント	DXのコンセプトに適したUX/UI実装 ・利用現場の制約や長年習熟したやり方への配慮が必要 ・システム開発が進む前に、プロトタイプで受容性を評価したい ・将来にわたっても、デザインポリシーの一貫性を保ちたい	現場を理解し、最適なUIを導き出すプロトタイプ開発と検証を繰り返すことで、適切で、直感的に利用できるUX/UIデザインを提供します	● DXのコンセプトに適したUX/UIを実装 ● デザインポリシーの一貫性を確保
3. 体験価値の オンボーディング	緻密に体験設計されたDXも、使いこなされてこそ価値発揮 ・利用を活性化し、定着を促進したい ・属人化している手順や使いこなすためのノウハウを共有して、引き継ぎたい ・Web・動画といったメディアを組み合わせ、組織内外に情報発信したい	用途に応じてマニュアルを整備し、操作方法を学べる導入研修やガイダンスを用意します。また、魅力を伝えるオンラインセミナーやメルマガ配信などのプロモーションを通じてDXを促進します	● 現場に寄り添って使い方やノウハウを共有 ● インナープロモーションの継続によりDXを定着

1.3 体験価値(UX)を高めるとは



課題

ツールやシステムありきのDXでは、
ユーザーにとっては使いにくかったり
活用されなかったりして、
効果的なDX推進ができていない



解決

お客さまのDXに、
UX起点からのアプローチで協創し、
ユーザー体験価値を高めます

1.4 体験価値のデザイン

1. 体験価値のデザイン

要件定義

基本設計

DXには、意見やアイデアを集約し、具体的な戦略やロードマップへ落とし込むプロセスが不可欠

- 業務実態を把握して、DX推進のための課題を見つけ出したい
- DX関係者と建設的な議論を重ねて意見を統合したい

直面する課題やニーズを明確に把握して、ユーザーの行動や感情を理解することで、使い心地にも配慮された、満足度の高い提供価値をデザインでき、関係者の合意形成にもつながります



顧客協創
業務可視化



議論促進
プロジェクト推進支援



課題

ユーザーのニーズがはっきりつかめていないので、DX推進が受け入れられるか不安

DXの推進にはたくさんのステークホルダーがかかわっているため、意見がばらばらでまとめられない



解決

UXリサーチによってユーザーのニーズを深く理解し、業務の本質的な課題をとらえます

ワークショップによってさまざまな意見を統合していきます。情報の可視化で議論の的を作り、関係者が納得できる結論を導き出します

1.5 体験価値のインプリメント

2. 体験価値のインプリメント

開発

DXのコンセプトに適したUX/UI実装

- ・利用現場の制約や長年習熟したやり方への配慮が必要
- ・システム開発が進む前に、プロトタイプで受容性を評価したい
- ・将来にわたっても、デザインポリシーの一貫性を保ちたい

現場を理解し、最適なUIを導き出すプロトタイプ開発と検証を繰り返すことで、適切で、直感的に利用できるUX/UIデザインを提供します



UIデザイン



Microsoft 365
SPOデザイン



ローカライズ



課題

提供するDXのコンセプトをどのように実装すれば受け入れられるだろうか

ユーザーに受け入れられるか不安なので、実装する前に反応を知りたい



解決

さまざまな業務やユーザー要件を考慮した上で、正確に情報を理解できるUIデザインを提供します

アンケートやプロトタイプでのユーザー評価、ユーザビリティ評価などでコンセプトの妥当性を評価します

1.6 体験価値のオンボーディング

3. 体験価値のオンボーディング

導入・プロモーション

緻密に体験設計されたDXも、使いこなされてこそ
価値発揮

- 利用を活性化し、定着を促進したい
- 属人化している手順や使いこなすためのノウハウを共有して、引き継ぎたい
- Web・動画といったメディアを組み合わせ、組織内外に情報発信したい

用途に応じてマニュアルを整備し、操作方法を学べる導入研修やガイダンスを用意します。また、魅力を伝えるオンラインセミナーやメルマガ配信などのプロモーションを通じてDXを促進します



マニュアル制作
操作研修



提案書
Webデザイン



イベント開催
プロモーション



課題

- 開発したサービスをユーザーが受け入れてくれず、使ってもらえない
- サービスを使った新たなやり方が定着しない

顧客へのPRのために作った提案書、
拡販資料が分かりにくく、訴求力が不足



解決

Web、動画、セミナーなどのメディアの
組み合わせや、印象的なメッセージ
ングの作成、効果測定の手法などを提
案します

メディア選定だけではなく、製品、ター
ゲットに即した文章、効果的なデザ
インで訴求力を高めます

2. ソリューションを支えるメニュー

2.1 顧客協創、業務可視化

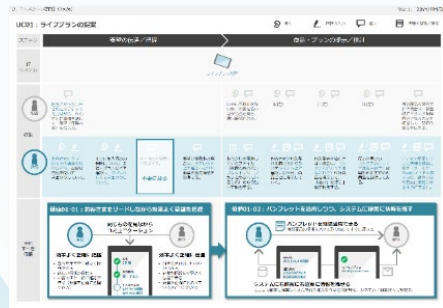
業務調査を通じたユーザー視点での情報整理や可視化、
ワークショップにおけるお客さまとの場づくりなどに貢献

業務調査



インタビュー

可視化



カスタマージャーニーマップ

ワークショップ支援



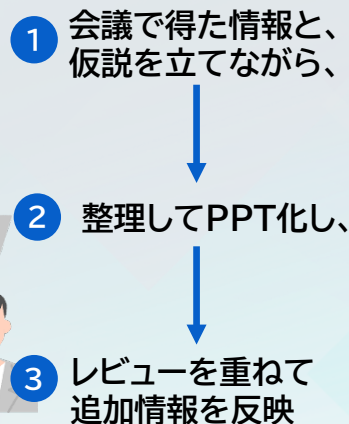
ワークショップの場づくり

プロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化を支援
知的業務・現場生産性向上にドキュメンテーションで応える

話題ごとに整理し、
PPT化して…

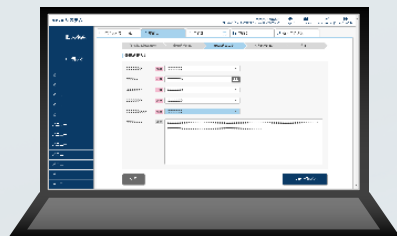
資料として整備

会議で板書を担当し、
議事を振り返って…

[illegible][illegible]

最新のトレンド情報をキャッチしており、洗練されたデザインの提案が可能

Webシステム



ダッシュボード



スマートフォンアプリ



タブレット画面



組み込みシステム

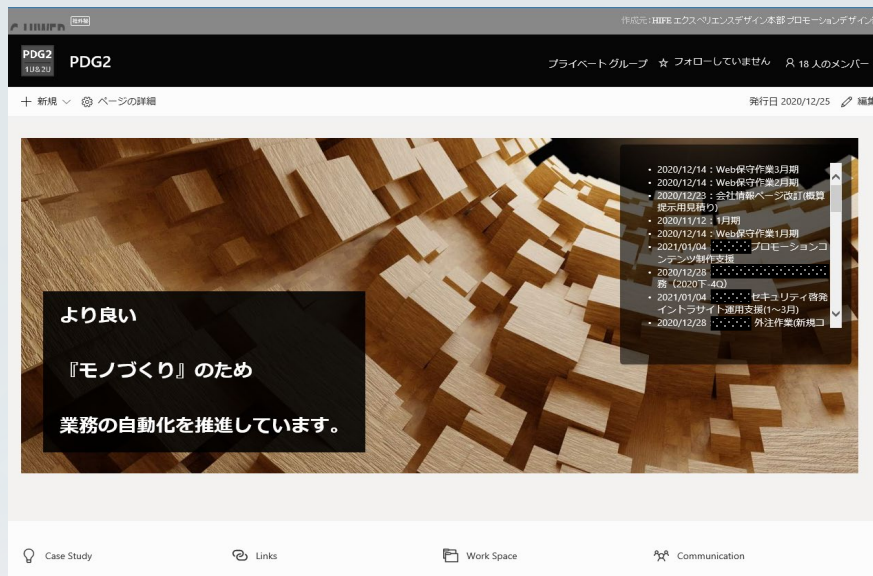


デジタルサイネージ



2.4 Microsoft 365、SPOデザイン

Microsoft 365の普及に合わせて、いち早く対応スタート SharePoint Onlineによるイントラサイトの実績多数



単なるポータル化、移行ではなく、
デザイン・検索性を追求したサイト制作



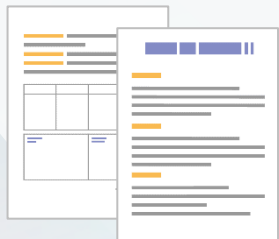
2.5 ローカライズ

IT分野に強く日本語力も高いネイティブスタッフ常駐
英語、中国語など多言語翻訳を高い品質で対応

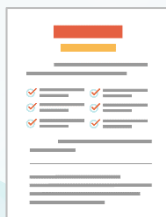
ITの専門知識を持つ翻訳者やネイティブスタッフが、世界に「伝わる」高品質な翻訳を提供

さまざまな種類の翻訳に対応

マニュアル
技術資料



海外向け
販促資料



システム／
アプリ画面項目
(ボタン／ラベル)



弊社著作



SEと連携しながら、目次構成の設計～制作～実機確認まで トータルで対応

制作マニュアル(一例)

業務アプリケーションの操作、 運用マニュアル

- 公共系システムの操作マニュアル
- 法人向けネットバンキングマニュアル
- 金融系社内システムマニュアル
- 量販店向け販売管理
システム操作マニュアル



IT製品/サービスの 操作、運用マニュアル

- 通信管理製品
- 文書管理製品
- ストレージ管理製品
- 人間ドック、健康診断予約

業務マニュアル

- 入出荷、支払請求、
在庫管理運用マニュアル
- 販売物流管理業務マニュアル
- 人事、総務、経理部門の
業務手順書



2.7 操作研修

マニュアル制作に加えて、
「操作研修テキストの作成～研修講師」まで一括で対応

マニュアル制作

SEと連携して
各種マニュアルを制作



テキスト作成

紙のテキスト・研修用
モックアップ作成など



研修講師対応

制作したマニュアルや
テキストに基づいて研修



2.9 Webデザイン

日立グループを中心に実績多数

最新の技術トレンドに対応／日立ガイドラインに基づく作業実績が豊富／月次の定期更新にも対応



2.10 イベント開催、プロモーション

イベント(リモート含む)開催に必要な業務を お客さまご要望に沿ったプランで提案

企画



- 要件のヒアリング
- ウェビナーの検討
- 日程の調整
- 告知・募集方法検討
- アフターフォロー検討
など

ウェビナー環境・ コンテンツ準備



- ウェビナー掲載ページ
作成
- シナリオ作成
- スライド作成
- 撮影・映像編集
など

集客・運営



- お客さまへのメール
案内
など

アフターフォロー



- アンケートの実施・分析
- 視聴履歴分析
など

■他社商品名、商標などの引用に関する表示

- Microsoft（Office 365、PowerPoint、SharePoint）は、マイクロソフトのグループ企業の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

■サービス・製品の仕様に対する表示

本資料に記載しているサービス・製品の仕様は、2024年8月現在のものであります。

サービス・製品の改良などにより予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

■お問い合わせ情報について

ご相談・ご依頼いただいた内容は回答などのため、

当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）および

株式会社日立製作所に提供（共同利用も含む）することがあります。

取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。